

私の昆虫採集歴

沢 辺 保

理科の教師として中学校に勤務するようになってから生物、岩石、星と専門の化学以外の生物、物理、地学の広範囲についてある程度は知っていなければ教師の権威にかかると思い手近かなものからそれらの名前を記憶してはや半世紀を経過した現在、記憶力にはぶり若い時ほど名前が次々に口よりとびでない状態になってしまった。最初は郷里の豊岡市で但馬の山野を随分とうろついたこともある次は尼崎で植物の少ない市内をくまなく調査したこともある。三番目に鶏籠山のある竜野市に転動してから植物、岩石からもオサラバして昆虫採集に、わが子の体力増加をねらって本格的に専念した。その時に相坂耕作君とも師弟の関係で知りあった。現在は師弟関係が逆になりこの方面の造詣も深く逆に私の方が教えていただいているような現状である。四番目に現在の勤務校周辺の昆虫、特にトンボの採集にボツボツと手がけている状態であるので会員の皆様方のご指導をたまわりたく思っているような次第でありますのでよろしくお願いします。

道場の蝶二種

矢 代 武

春の女神ギフチョウが姿を消すころ、道場に二種の可憐な蝶が出現する。ギンイチモンジセセリとクロツバメシジミがそれだ。いづれも局地的で珍らしい蝶で一度は手にして見たい蝶である。ただ私も1969年以来採集していないので多少様子が変わっているかと思うが、まずは確実に採集できるものと思われる。

(ギンイチモンジセセリ)

福知山線道場駅で下車、駅前を左に4～5分行くと武庫川にかゝる大きな橋につきあたる。この橋から上流にかけて右岸川原が好採

集地である。川原の食草、アシの群落をたいてまわると蛾のようにフラフラと飛び出るので採集は極めて簡単である。特に春型にみられる裏面の銀白条は印象的である。

春型は4月中旬から出現し、夏型は7月上旬。9月上旬には秋型も見られるという。

(クロツバメシジミ)

前種とは逆に駅前から右へ川沿いに千刈水源地向い約10分。右側岩場にチラホラと食草のツメレンゲを見かけるようになる。この附近から道端の花にも見かけるが数は少ない。更に7、8分行くと右側に大きな岩場がある。こゝにはツメレンゲが多く、蝶も岩場伝いに舞い降りてくる。こゝで根気よく待つのが最も良い採集方法と思われる。

出現時期は5月上旬から断続的に年4、5回といわれるが、9月下旬が好採集時期と思われる。ただ飼育のためとはいえ食草のツメレンゲを乱獲し、一時は絶滅に類していたという。今後はこのような事のないよう皆で保護したいものである。

ジャコウアゲハの異常型

森 下 泰 治

1975年5月福崎町でジャコウアゲハ♀の異常型と思われるもの2頭を採集した。

